

# 「いじめ問題・悩みに関する調査」結果の概要

養護教諭 山下 知子

教育相談課では、今年も全学年を対象に「いじめ問題・悩みに関する調査」を行いました。長年、継続的に実施しているもので、毎年この冬の号で結果報告をしています。学校の中で「いじめ問題」が起こっていないか、また日頃生徒がどのような思いや悩みを抱えているのか等を調査しています。その結果を経年比較したり、こうしたお便りを通して生徒のみなさんと共に考えることで、新たな気づきや行動変容が生まれることを期待しています。また、教員間でも共通理解を図り、様々な問題に迅速に対応し、落ち着いた高校生活が送れるように協議しています。

令和5年度調査日 3年生：5/25（木）LHR 1. 2年生：9/28（木）LHR

## ☆全体的な傾向と特徴

この調査では、最低値の「あてはまらない」が1・最高値の「あてはまる」が4となっており、数値が小さい方が、良い状態となります。例年と同じく各学年とも他項目と比べてややポイントが高くなっているのが、「勉強の仕方」「将来の見通し」「他人からの評価」です。学年に関係なく多くの生徒が、勉強や将来についての悩みを抱えています。中には、不安や焦りなどの気持ちが大きくなって過剰なストレスを抱えてしまうケースもありますが、多くの生徒は高校生活の中で自分自身と向き合いながら自分なりの勉強方法を確立して自己実現を目指しています。高校生は他者との関係の中で自意識が高まる時期なので、「他人からの評価」のポイントも高くなりますが、そうした傾向は学年が上がるにつれて少しずつ改善していく様子が見られます。

全体としては、いじめやからかいは少ないものの、言葉や態度で傷つけられることがあったり、クラスの中に改めるべき問題があると感じている生徒がいくらかいるようです。

「生活のリズムが整わず、体調をよく崩す」「学校に行きたくない」などの項目もやや多く注意が必要です。

3年時には、ほとんどの項目で数値の減少が見られますが、今年の3年生は、全体的に例年より良い結果となっています。「友人関係の悩み」・「家族に悩みを相談できない」といった項目もそれほど問題なく、周囲と良い関係を築けている生徒が多いようです。

## 問 A 【いじめ・悩みについての質問】の結果（抜粋）

\*表中の数値は平均値。最高値4，最低値1で，数値が小さい方が良い状態となります。

「問A」質問事項	3年	2年	1年
a 生活のリズムが整わず、体調をよく崩す。	1. 7	1. 8	1. 8
b 友人関係で悩むことがよくある。	1. 4	1. 6	1. 6
c 学校内に信頼して相談できる人がいない。	1. 4	1. 4	1. 5
d 勉強の仕方がわからず、集中できない。	1. 8	<b>2. 0</b>	<b>2. 1</b>
e 将来への見通しが立たず、気力が湧かない。	1. 8	<b>2. 0</b>	<b>2. 0</b>
f 学校に行きたくないと思う。	1. 7	1. 7	1. 8
g 私には友人がいない。付き合いがうまくいかない。	1. 2	1. 2	1. 2
h 私はいじめられている。	1. 0	1. 0	1. 0
i からかわれたり手を出されることがあり、いやだ。	1. 1	1. 1	1. 1
j 言葉や態度で傷つけられることがある。	1. 2	1. 2	1. 2
k クラスの中に改めるべき問題がある。	1. 2	1. 3	1. 4
l いじめたりいじめられたりしている人がいる。	1. 1	1. 1	1. 1
m 人が私をどう思っているのかとても気になる。	1. 7	<b>2. 1</b>	<b>2. 1</b>
n 私のことをわかってくれる人は一人もいない。	1. 2	1. 3	1. 3
o 家族は私に過剰に期待をかける。	1. 4	1. 4	1. 5
p 家族には、悩みがあっても相談できない。	1. 4	1. 5	1. 5
q 私の落ち着ける場所はない。	1. 2	1. 2	1. 3

1=あてはまらない 2=あまりあてはまらない 3=ややあてはまる 4=あてはまる の4件法で回答し、平均値を表す

## **問 B 【朝日高校に「いじめ」はありますか。あるとすればどのようなことですか】(自由記述)**

「知っている限りではない」「ないと思う」「見たことはない」「知らない」が多数ですが、「遊び半分と思われる嫌がらせ、悪口、からかい、仲間はずれ、陰口、無視」「勉強の出来ない人を馬鹿にする(成績マウント?)」「日常のささいな妬みや僻みから生まれる偏見や差別」「表面上ではないが、ネット上のトラブルはある」「SNSの使い方が良くない人を見受けられる」などの記述もみられました。また、「変わっている人を笑いものにすることは朝日では少ないが、ゼロではないと思う。」や「はっきりとしたいじめはほとんど見られないものの、「いじりや少し過度な悪ふざけがある」など、受け取る側にとっていじめとなり得る記述もありました。

### **☆いじめの実態把握について**

いじめに関連した項目は、問Aの質問h～lです。その数値は高くはないものの、毎年皆無ではありません。いじめや嫌がらせ等がないかについては細心の注意を払って確認するようにしています。また、近年では、表面的には見えづらく、教員の目も届きにくいネット上で傷つく経験をしている生徒もあり、本調査や面談、カウンセリング、県が運営する相談アプリを通して判明することもあります。把握した事案については、各関係者で共有し、早急に対応しています。

### **☆知って欲しいこと・訴えたいこと(自由記述)には、こんな声もありました！**

「朝日では、先生も生徒も無理をし過ぎている人がいるように思います。度が過ぎると双方にとって良くないというか、睡眠時間が少ない人がいることも気になります。もっと皆が適度に充実した生活を送ればいいのに・・・。」本校の生徒は、高い志をもって努力していますし、教員はその努力を誠実に支えています。しかし、この生徒が述べているように、自分の許容量を超えて頑張り過ぎた場合、そのしわ寄せが心身の不調として現れることもあり注意が必要です。無理をし過ぎないことは、とても大切なことです。自分の心身のコンディションを健康な状態に維持しながら能力を発揮することが基本であると考えてほしいと思います。食べる・寝る・日々の生活を楽しむ・少し疲れたら休むといった基本的な生活習慣を大切にしながら、自分の得意や持ち味を生かして朝日高生活を充実させましょう。

・朝日高校には、仲間同士で支援し合うための考え方やスキルを身につける「ピア・サポート」という活動があります。教員や保護者にはなかなか言えない胸の内も、友達には話せるという生徒もたくさんいます。1、2年生保健委員や希望者に対して毎年研修を行っており、ピア・サポートが広がり、根付くことを期待しています。

・本校では「いじめ問題」等の実態を把握した際には、学年団をはじめ教育相談課・各関係者等で対策を協議し、毅然とした態度でその解決に努めています。何か気になることや心配事などがある時には、遠慮なく教育相談課や保健室、担任など相談しやすいところへ相談に来てください。また、岡山県では令和元年度より、生徒が匿名によるいじめ等の相談・報告を行うことができるアプリ「STOPit」→令和4年度からは「STANDBY(スタンバイ)」を導入しています。いじめを受けていたり、いじめに気付いたが直接相談に行くのは行きづらい・・・といった場合は、アプリの活用も検討してみてください。あなたは決してひとりではないことを忘れないでください。